

2021 年度 新人看護職員成長レポート クリスマス編



寒くなってきましたが、2021 年度入職の新人さん方は体調管理を自身でしっかりしながら頑張ってお仕事をしています。

12 月の研修は、BLS や採血・筋肉注射など技術練習が主な内容でした。小児棟や集中治療部門に配属されているスタッフが、患者さんに直接採血することは稀です。大学や看護学校時代にもほぼ経験はありません。今回は看護師役・患者役を交代で経験し、お互いがそれぞれの立場になって考える機会になりました。

「緊張する～」 「手汗が・・・」 「看護師さんみたい」
(←看護師免許は取得済みですよ((+_+))) などなど・・・
初めて人に針を刺す行為にドキマギしながら演習を行いました。筋肉注射は、針を刺す感触が似ているということから、ミカンに役割を担ってもらい、練習しました。(ちなみに使用したミカンはスタッフの実家の農園から頂きました) 注射器

の持ち手がぶれたり、よい角度に針が入らなかったり・・・

お互いにより良い方法をアドバイスしながら、楽しく研修を行いました。

大きな会場では、1 次救命に必要な胸骨圧迫、バグバルブマスク法などを集中治療科医師と小児救急認定看護師から学びました。ミスチルのメロディーに合わせて、リズムよく、胸骨圧迫しましたが、意外と力があるのよ、これが・・・

母性棟に配属されているスタッフは、経管栄養や気管切開患者のケア等、母性棟では経験できない技術を小児棟で経験しました。すぐに状況が変化する脆弱な患者さんに対して、どのようなアセスメントをしながらケアをするかなどを学びました。

母子センターでは例年、この時期に、教育を担っている先輩から頑張っている新人さんにむけて、メッセージカードを贈っています。サプライズでもらうカードに新人さん方は感激の涙、涙。



「これからも一緒に頑張ろうね」の温かいメッセージに私たちも心が温まりました。

